

守谷なくして県政なし



# 小川一成の県政報告

発行 小川一成  
〒302-0125  
守谷市高野646  
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

## 滝下橋の事故の顛末と復旧の見通しについて「小川一成」がどう動いたか!

**事故発生** 9月8日午前10時30分頃、守谷市の「滝下橋」においてトレーラーによる事故が発生し全面通行止めになりました。この事故はトレーラーがバックホーを2台積んで通過していた所、その1台のバックホーのアームが橋梁のトラスに接触した衝撃で、もう1台のバックホーが対向車線側に倒れ、対向車線を走っていた軽乗用車を損傷させ通行出来なくなりました。



重大事故発生

この事後で、滝下橋が「通行止め」となり、迂回路である、ふれあい道路、国道294の混雑は目に余るものとなりました。1日14,000台の車を「全面通行止め」する影響の大きさを痛感し、一日も早い復旧が必要と直ちに対応にあたりました。

**直ちに対応** すぐに、橋本知事への要望書を提出。

- ①復旧に全力をあげ速やかに通行可能な状態にすること。
- ②復旧までの間、混雑緩和の一環として水海道有料道路を無料化すること。

結果、9月11日夕方から、土日を除く通勤時間帯に限り、水海道有料道路は無料化となりました。



現地調査 土木の石井所長と

**予算委員会での質問** そして、予算特別委員会で「滝下橋の事故に係る現況と今後の対応」について知事と土木部長に質しました。

小川(Q) 今回の事故を踏まえて、知事の危機管理が問われた訳ですがどのような考えのもとに対応されたのか?

知事(A) 激しい渋滞の発生を緩和すべく広域迂回路の設定、ラジオやSNS等を活用した広報につとめた。更には地元の状態を熟知している地元県議会議員や組長の方々の意見を踏まえ水海道有料道路の無料化を決定した。



予算委員会 手前左が知事

小川(Q) 復旧の見通しについてお尋ねしたい。

部長(A) 来週中には暫定的に普通車のみを通したい。

小川(Q) 来週中との事だが具体的にいつ頃か?

部長(A) 中頃を目指している。

小川(Q) 中頃というのは24日か25日の木曜日と理解するがそれでよろしいか?

部長(A) 遅くとも25日までは通れるように努力したい。

小川(Q) 滝下橋は60年近く経過し老朽化も進んでおり、更に幅員が5.5mと狭いのでこの際、上流への架け替えを検討したらどうか?

部長(A) 財政的な問題も有り直ちにこの状況にはない。

小川(Q) 架け替えは既に都市計画決定がされており、常総市からは合併特例債を使って4車線道路が新しい滝下橋に向かって整備が進んでいる。橋がかからなければ意味をなさない。早期の着工を強く要望する。

以上のやりとりを致しました。

### 結果 9月22日 滝下橋暫定解放日決定

- 解放日時 9月24日(水) 13:00から
  - 対象車種 普通自動車のみが通行できます。
- 地元の皆さんは、生活道路として使用しており、稲刈りシーズンであったり、酪農団地の方は泊り込んだりしていたこともあり、大変喜んでいました。執行部の皆さんのご尽力に感謝します。今後は(仮称)新滝下橋の架け替えを急ぐべきと知事に提言していきます。

### 心に残る定例会議となりました。

茨城県議会は9月1日に開会し、25日に閉会しました。私にとってこの定例会議は記憶に残る議会となりました。定例会議中の9月8日に守谷市の滝下橋で重大事故が発生し直ちに全面通行止めとなり、守谷市を始め近隣の道路が大渋滞を起こし、長期にわたり地域住民に大きな影響を与えました。

私は1日も早い復旧を願い、橋本知事にいち早く混雑緩和のため水海道有料道路の無料化を提言し、即刻実施していただきました。同時に私は県の職員と一緒にその対応に奔走しました。

県の竜ヶ崎工事事務所も素早い対応をし、事務所に泊まり込みで復旧作業にあたった結果、最短の期間で一部開通にこぎつける事が出来ました。

私は知事の決断と職員の皆さんの並々ならぬ努力に、心から感謝申し上げます。

24日開通した時に、私は現地で多くの皆さんから「ありがとう」の言葉を聞くことが出来ました。この言葉はそのまま職員のみなさんに向けられた感謝の言葉です。本当にありがとうございました。

本格的な復旧はこれからです。一日も早く元の状態になるよう全力で取り組みます。



多くの人達に、車越しに「ありがとう」と声をかけられました。

### 「危険ドラッグ対策について」関係団体から意見聴取

鹿島税関支所、茨城県医師会、教育庁、警察本部などの関係8団体の参加を得て、議員の皆さんと活発な意見交換を行いました。

関係者の皆様からは危険ドラッグ対策について、何が問題で、どんな対策を立てれば良いのか、日頃感じておられる事をそれぞれの立場からお話をいただきました。

これらの事を参考に国の動向を見ながら、県民の安全、安心と健康を守るため足らざる所を補ってより良い県条例を作りたいと思います。



### 「いばらき観光おもてなし推進条例」(仮称)制定へ

9月22日に、県ホテル旅館生活衛生同業組合等16団体と、自民党県連政調会との意見交換会が行われました。

11月の県議会に、議員提案を予定している「いばらき観光おもてなし推進条例」(仮称)に反映させようというものです。

都道府県別の魅力度ランキングで最下位に低迷する私たちの茨城県ですが、「いばらきおもてなしの心得」で県の観光振興を後押しするのがねらいです。

県連の政調会長として、私は「訪れた人に茨城の魅力を知ってもらい、再び訪れたいと思ってもらえるよう、茨城を全国に発信したい」と挨拶いたしました。国や市町村と連携し、地域の魅力度アップのために、条例制定となるよう努力していきます。

### 土木委員会視察

茨城県議会「土木企業委員会」の県内視察で取手市井野に架かる「井野跨線橋」を視察いたしました。

この跨線橋は取手警察署前の国道6号線から常磐線をまたいで東側の旧6号線に至る1.7キロの道路です。これが出来ると取手市を囲むように環状線が走りとても便利になります。

この後、守谷市北園交差点の右折レーンの延伸工事についてかねてより私から県に要望していた現場を視察し、この秋にも工事に入ることになりました。



森田県議と一緒にです。

## 灼熱の雪合戦

8月31日、守谷市商工会青年部が仕掛けた「灼熱の雪合戦」は最高のお天気に恵まれ、TX守谷駅西口広場は初めての試みである真夏の雪合戦でにぎわいました。

私は商工会長として御挨拶を申し上げた後、チーム・インターナショナルの主力メンバーとして雪合戦に参加。(ドイツ、メキシコ、インド、台湾、中国、日本の国際隊です。)16チームがエントリーし激しい戦いが繰り広げられました。

NHKのお昼のニュースや、翌日の新聞各紙では大きくとりあげられました。



チーム・インターナショナル  
前列右から2人目が本人

## 守谷市商工祭り～きらめき守谷夢彩都～



守谷市商工祭り2日目のオープニング

9月27日・28日守谷駅西口広場で第31回の商工祭り～きらめき守谷夢彩都～が開催されました。

お天気にも恵まれて最高の祭り日和。9月27日の初日は愛宕中学校とけやき台中学校の吹奏楽部の演奏でオープニングを飾り、2日目の28日は守谷中学校、御所ヶ丘中学校の吹奏楽部の演奏で始まりました。

2日間で9万人近くの参加者ということで、守谷駅西口広場は大変な盛り上がりでした。

参加者数は過去最高。祭りの参加者、出演者、出店者の皆さんからとても喜んでいただき主催者としてこれ以上ありません。

嬉しいことに今年は今までになく会場が綺麗でした。



がぶりメンチには長蛇の列



ボーイスカウト  
火おこし体験コーナー

## 通学路の草刈り

8月末、下ヶ戸地区の皆さんと大野小学校通学路である都市軸道路の草刈りを行いました。

新学期に間に合うように例年この時期に多くの方が参加して2年前から実施しています。

この道路は県道なので本来は県が管理すべきですが、限られた予算の中で住民が文句ばかり言っていたのでは地域は良くならない、皆でやろうと言うことになって年に2回の恒例行事となりました。玉の汗をかいたみなさんの笑顔が心地よい疲労と満足感で満たされました。



都市軸道路の草刈り

## 「守谷みつばち夢プロジェクト」この指と～まれ!

最高に暑い日中に「みつばちプロジェクト」を実施し、ミツバチの点検を行いました。

5群あるハチのうち二つの群れが要注意です。最も注意を要するのはKさん担当の7番巣箱です。

群れも弱く女王蜂が見当たらない。隣の巣箱に女王蜂の王台が着いていたので内勤バチごと移動しました。次回までに新しい女王蜂が生まれていると良いのですが目が離せません。

巣箱の前にカブトムシが死んでいます。蜜の匂いに誘われるのでしょうか命がけです。

今日は7人参加で新たに2名が見学に見えました。お天気も良く下着まで絞れるほどの心地よい汗をかきました。



みつばちプロジェクトで巣箱の点検

## アーカスプロジェクト2014いばらき

8月29日、県の事業であるアーカスプロジェクトのオープニングレセプションが守谷市国際交流研修センターで行われました。

毎年この時期に、世界中から選ばれた芸術家が3ヶ月間、「もりや学びの里」にあるアーカススタジオで創作活動を行います。



招聘されたアーティストと

今回は70カ国以上の国から約650人の応募者があり3名の芸術家が選ばれました。

トルコ生まれで、オランダ在住のセイット氏、アルゼンチンからフロレンシア氏(女性)、キプロスからコンスタンティノス氏です。守谷での創作活動中に、仕事をしている現場を市民に開放し、芸術家と交流する機会も設けてあります。

このプロジェクトは茨城県の事業ですが、今年で21年になり今では世界中から注目され、評価されています。今日までに招聘された芸術家は91名になりここでの体験を元に、その後多くの芸術家が名だたる賞を受賞しています。

## 取手医師会が筑波大学と協定

筑波大学附属病院取手地域臨床教育ステーションの開所式が取手医師会病院で行われました。これは筑波大学と取手医師会との寄付講座設置協定に基づき実施されたものです。

この事により筑波大学からドクター3名が常勤配備され大学・医師会・地域医療支援病院との連携による医療教育体制の整備が計られます。

医師不足に悩んでいた医師会と県南に住む地域住民にとって待ち望んでいたものです。私は来賓としてお祝いの言葉を申し上げました。



取手医師会病院前にて

## ミャンマー連邦共和国大使による講演会



ミャンマー大使と

守谷市国際交流協会が毎年実施している「大使講演会」が7月に行われました。

今回は「キン・マウン・ティン駐日ミャンマー連邦共和国大使」をお招きいたしました。

ミャンマーは2年前から民主化路線が定着し世界中から注目され「最後のフロンティア」と言われています。「軍事政権」のお陰で?治安は非常によく、とても親日的で日本人に親切です。

我々とミャンマーとの縁は、今年2月に茨城空港からチャーター便5便を飛ばした折に、第一便で守谷から私を含めて9名が参加し交流を持ったことがきっかけです。

講演会には多くの方にご来場いただきありがとうございました。

※昭和18年ビルマ臨時政府の初代駐日大使として赴任されたウ・ティーモン卿の身辺護衛をしていた守谷の長谷川亀太郎氏が卿の死を惜しんで昭和34年に慰霊碑を建立しており、大使は講演会の前に献花もされました。

## 小川一成のひとりごと

### 7月末に四国に視察に行きました。

香川県高松市には「高松城跡」があります。ここは茨城県と深いつながりがあります。

徳川時代に先代の生駒氏が御家騒動により讃岐一国を召上げられ秋田県に国替えになりました。その後、常陸国の下館藩主だった松平頼重が東讃岐12万石の領主として入城(1642)しました。頼重は徳川家康の孫で、徳川光圀(水戸黄門)の兄に当たります。

頼重以降、松平氏の治世は11代228年間にわたり、高松は松平氏の城下町として栄えました。



高松城跡

## 茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646  
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

「小川一成のブログ」  
とても面白い!



配信中 小川一成



検索 趣味の養蜂

